



国民の森林・国有林

中部森林管理局

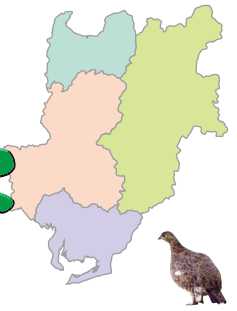
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



薪セミナーパネラー諸氏

「薪」王国信州の確立を目指した取組

－「薪セミナー」を開催－

(P 2 に関連記事)

| | | |
|------|------------------------------------|-----|
| 主な項目 | ○ 「薪セミナー」を開催..... | P 2 |
| | ○ 寄稿：善光寺出開帳「おしゃもじ」の製作 長野森林組合 | P 2 |
| | ○ シリーズ「森林官からの便り」 | P 5 |
| | ○ 新シリーズ「ご当地自慢」 | P 6 |

「薪セミナーを開催」

【資源活用課】四月二十二日長野県政協議会（構成：長野県林務部・中部森林管理局）では、再生可能なエネルギーの一つとして「薪」の利用を促進し、併せて、農山村の身近な産業として薪の生産拡大を図るため、「薪セミナー」を中部森林管理局で開催しました。

このセミナーは、近年、石油価格の高騰、スマートハウスの普及等を背景に農山村では一般家庭向けの暖房用に薪ストーブを用いる家庭が増大しており、また、都市部では本格的な薪金を備えたビザ屋が相次いで新規開店するなど、薪の需要量が年々増加していることを受けて開催したものです。

パネラーとして四氏（敬称省略）、需給者側として廣瀬直之（東京燃料産材株式会社）・滝本期一（株式会社 高善商会）、供給者側として木平英一（株式会社 ディーエルディー）・松尾秀樹（薪の松尾）をお迎えし、局長が司会を務めました。

セミナーでは、東京や名古屋・神戸からの流通問屋を含め約八十人が出席する中、需要者側、供給者側の双方による事例紹介と意見交換が行われました。

主な発言として、薪には楢、雑薪、製材薪の三種類があるが、それぞれ特色があることから用途も異なる。また、暖房

用と調理用では、求められる品質は同じではない。薪の大きさが生産者により異なるため、需要者から不満が出る場合がある。針葉樹の薪は広葉樹に比べ乾燥が容易。また、スギ、ヒノキであれば、薪ストーブの使用で汚れや脂で問題になることはない。冬の長い寒冷地では、年間の灯油代より安くつく場合もある。ホテルでは薪と炭の併用がみられる。山村の高齢化が進む中、境界の明確化を含め原木の安定供給体制の確立が課題。等のご意見がありました。



薪セミナーの会場の様子

今回のセミナーでは需要者・供給者間での情報交換が熱心に行われ、長期間乾燥が必要なため広大なストックヤードの確保や原木の安定供給体制づくりなど、

新たな課題も明らかになりました。中部森林管理局では、長野県との連携の下、引き続き「薪」についての各種情報の発信に取り組みとともに、「薪」を含めた木材の安定供給に努めてまいります。



薪の生産現場（株DLD）長野県伊那市

寄稿

善光寺出開帳

「おしゃもじ」の製作



長野森林組合 営業企画課

課長代理 佐藤 健太氏

善光寺の出開帳が平成二十五年四月二十七日から五月十九日まで、両国の回向院で開催されました。この出開帳は、東日本大震災の復興支援を目的としており、戦後初の開催となります。期間中は善光寺の一光三尊、阿弥陀如来像、釈迦涅槃像などを開帳し、毎日法要がとりおこなわれました。

このたび、当組合が、善光寺より出開帳の授与品の「おしゃもじ」の作製依頼をいただきました。「おしゃもじ」の材



授与品おしゃもじ

料には、当組合と中部森林管理局との「国有林材の安定供給システム販売協定」により北信森林管理署管内から出材されたスギを使用し、加工の一部をフロンティアジャパン株式会社南三陸工場に依頼しました。

同工場は宮城県南三陸町の廃校を活用し、被災者の方たちの雇用創出の場として設立され、現在二十名の方々が木製品加工、セット作業などの仕事をされています。



南三陸町でのおしゃもじ作製風景

震災から二年がたちましたが、被災地の復興はまだまだこれからであり、雇用の創出が求められています。

今後とも当組合といたしましては、新たな木材の活用とともに、被災地復興に向けた取り組みも行っていきたいと思えます。

民有林支援

連携担当者会議の開催



「企画調整課」民有林との連携を一層深めた管理経営や、森林・林業の再生のための施策の集約化、新たな技術の開発と民有林への普及等について、管内の森林技術指導官と地域林政調整官等を集めた民有林支援・連携会議を四月十八日から十九日にかけて開催しました。

会議冒頭、山元次長より、地域のための国有林となること、地域関係者や民有林との連携を一層深めた管理経営を進めることなどの挨拶の後、局各課より民有林支援・連携施策の取組方針や、民有林関係者と協調した森林整備推進協定等の締結、人材育成に向けた森林技術・支援センターの取組などの説明がありました。

参加した各署（所）の森林技術指導官等より民有林関係者からの要望・相談事項の報告や、今年一月末に開催した中部森林技術交流会で発表された「木曾谷流域における民・国連携による林業再生への取組」など三題の発表を受け、今後、より一層取組むべき具体的事項について確認、共通認識をもったところで

二日目は、林野庁整備課造林間伐対策室の中本課長補佐から「森林整備事業の概要」と題し、主に森林環境保全直接支援事業（造林補助事業）について説明を

受けました、長野県林務部森林政策課丸山課長補佐より、長野県が取り組む信州 F・POWER プロジェクトと林業経営基盤づくり等の推進や第六十七回全国植樹祭に向けた取組、ニホンジカ被害対策などの説明を受け、民有林施策の動向等について理解することができ有意義な会議となりました。



会議の様子（中部森林管理局）

全体会議終了後は、特に新たな技術開発と民有林への普及について県別に打ち合わせを行い「過去に列状間伐を実行した箇所における二回目の間伐」や「伐採・造林の一貫作業システムの導入」などに今後全署共通事項で取り組んでいくことなどを確認をしたところです。

今後とも民有林に対する支援・連携や技術の開発・普及に向けた取組等に関係者一丸となって取り組んでいくこととしています。

各地からのたより

カラマツ黄葉写真コンテスト

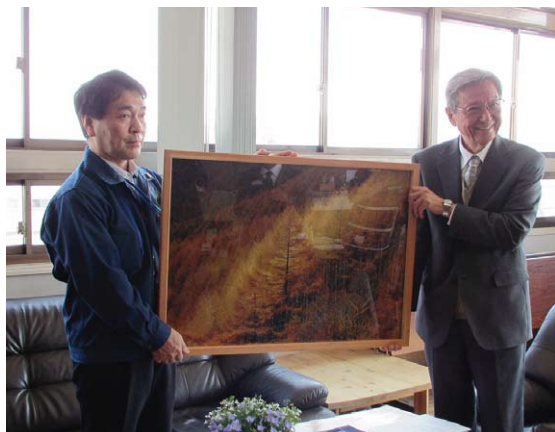
入賞作品を市町村贈呈

「北信署・中信署・東信署・南信署」

本年二月に実施したカラマツ黄葉写真コンテスト入賞作品、九作品を、入賞作品の撮影箇所である各市町村へ各署長から贈呈をすることとしています（贈呈市町村、小諸市・信濃町・長野市・高山村・松本市・茅野市・川上村）。

まず、五月九日の東信署から小諸市への贈呈に始まり、信濃町・茅野市・松本市への贈呈が終わっています。

高峰高原を撮影した作品を贈呈された小諸市長から「大変素晴らしいパネルをいただいた。小諸市は全体がカラマツ林なのでその美しさにこれまであまり気がつかなかった。早速、市民にも見せられるよう市庁舎入口のロビーに飾りた



東信署長と小諸市長



松本市副市長と中信署長

十三日には、中信署長から松本市副市長へ上高地と野麦峠で撮影された作品を贈呈しました。市では応接室等へ展示していただく予定とのことです。



信濃町長と北信署長

「い。」と贈呈に大変喜んでいただきました。十日には、北信署長から信濃町長へ黒姫山で撮影された作品を贈呈しました。信濃町では作品を、観光関係に活用することを検討されています。



茅野市副市長と南信署長

同じく十三日には、南信署長から茅野市副市長へ茅野市からの八ヶ岳を撮影された作品を贈呈しました。市では市庁舎ロビーへ展示していただく予定とのことです。

各贈呈式には報道関係の取材も行われ、カラマツを木材資源としてだけでなく、観光資源としても評価していただくとのコンテストの目的にも貢献しています。

現在、カラマツ新緑写真コンテストを実施中です。七月十日までの応募となっていますので、多数の応募を期待しています。



「名古屋事務所」みどりの月間中（四月十五日～五月十四日）の、「旧みどりの日」にあたる四月二十九日（昭和の日）に、平成十七年度から始まり、今年で九

回目となる「みどりのフェスティバル13」を愛知県瀬戸市にある瀬戸国有林「定光寺自然休養林」において開催しました。

この「みどりのフェスティバル」は広く地域の方々に森林とふれあっていることを目的に、森づくりの輪を広げることを目的に、名古屋事務所と愛知森林管理事務所の主催で開催してきましたが、国有林野事業の一般会計化を機に、瀬戸市を始め今までフェスティバルに協力していた団体による実行委員会形式で運営することになりました。世話人代表として（一財）日本森林林業振興会名古屋支部長を選び、木材利用推進も趣旨に掲げ、リニューアルした形で準備を進め、当日を迎えました。



来場者で賑わうブース

当日は、天候に恵まれ、地元瀬戸市を始め名古屋市などたくさんの方々の地域から、約一千二百人という多くの方々に参加い

ただき、新緑のさわやかな風が吹く自然休養林の中で、森林とのふれあいや、丸太切り、火おこし体験、マイ箸づくりなど木とのふれあいを楽しんでもらいました。



マイ箸づくりを楽しむ参加者

フェスティバル終了後には、中部森林管理局名古屋事務所長から、「地域のみなさんのお役に立つことも国有林の大きな役割。その一環としてこのフェスティバルは大切。」来ていただいたたくさんの方々の笑顔が良かった。「来年またこの場所のみなさんと一緒に取り組みたいので協力を。」と、来年に向け関係者にあいさつし終了しました。

なお、この催しにはNHK名古屋放送局や地元ケーブルテレビからも取材があり、NHKでは夕方と夜の二回にわたり東海地方向けのニュースで放映されました。



「富山森林管理署神通森林事務所」



田中 神通森林官

神通森林事務所は、富山県富山市八尾町にあり、日本を代表する祭り「おわら風の盆」が催される場所にあります。

管轄する区域は岐阜県との県境近くに位置し、富山市（旧大山町・大沢野町・細入村・八尾町）に所在する長棟、大沢野、楡原、猪谷、大谷、小井波、野積国有林の七団地で約九千ヘクタールを管理しています。

管内の国有林の特徴は、多くはブナやウダイカンバなどの天然林となっており、人工林はスギが主体となっています。

国有林の中には先輩たちが築き上げてきたスギの成長試験地やウダイカンバの密度管理試験地など幾つかの試験地があります。試験地の調査をしていて、今まで雪国での仕事の経験がなかったことから、スギがSの字に根曲がった立木やブ

ナ・カンバの林を見ると地域によって樹種も違えば生長の仕方、形状もいろいろあるんだなど、自然の力や生命力の凄さを改めて思われます。その他にも長棟国有林では造林・生産請負事業や境界整備の監督、各種立木調査など多岐にわたる業務を行っています。

また、防風保安林に指定されている大沢野国有林には社会貢献の森「風とせせらぎの森林」が設定されています。ここはNPO法人きんたろう倶楽部と協定を結んでおり、毎年四月頃に林内に侵入したモウソウチクを除去したものをチップパーシュレッダーでチップ化し、竹チップを林内の歩道等に敷設したりする作業や七月頃には植え付けしたスギやミズナラやクリなどの周りを下刈りする作業を行っています。



きんたろう倶楽部、竹の除伐

富山県といえば黒部・立山地域に中部山岳国立公園等の自然公園に指定された北アルプスが有名ですが、当事務所の野

積国有林には白木水無県立自然公園に指定されている白木峰自然観察教育林があり、高山植物や湿性植物が見られニッコウキスゲの時期である七月頃には多くの登山者が訪れ、黄橙色で染まった景観を楽しんでいます。



白木峰

冒頭の「おわら風の盆」は、毎年九月一日から三日が本祭で二十五万人前後の見物客が八尾を訪れます。ここに赴任して来て初めて見ましたが、越中おわら節の哀切感に満ちた旋律にのって、叙情豊かな唄と踊りは気品高く、哀調のある音色を奏でる胡弓の調べなどに魅了されます。

この風の盆の行事を行っているのは、十の旧町内とそれらの旧町内外から移り住んだ人たちからなる福島（ふくじま）の計十一団体で、私は福島地区になります。

福島の方は毎週水曜日の夜に公民館に



おわら風の盆

集まり、三味線、胡弓、太鼓、唄の稽古をしており、こうした努力が伝統を受け継ぎ、祭りを成功させているのだなと感心させられます。

ここへ来て二年目に入り公私ともに充実した日々を送っています。今年度も無災害となるよう頑張っていきたいと思えます。

行事・協議等の予定

◎長野林政協議会

6月11日

◎富山県林政協議会

6月26日

◎愛知県・岐阜県合同林政協議会

6月28日



総樺造の豊川稲荷大本殿

◆パワースポット「豊川稲荷」
東海屈指の霊場と呼ばれる、愛知県豊川市にある曹洞宗の寺院豊川稲荷（とよかわいなり）は、正式の寺号は「円福山豊川閻妙嚴寺」（えんぶくざん）とよかわかみょうごんじ）と称する寺院です。境内は千二百七十二ヘクタールを有し、その中に整然と点在する堂塔伽藍は大小合わせ九十余棟にも及びます。総樺造の大本殿に祀られる鎮守の、吒枳尼真天（だきにしんてん）が白い狐にまたがっておられることから、通称「豊川稲荷」と呼ばれています。



◆いなり寿司
十九世紀の初めごろ、お稲荷さんにお供えしてあった油揚げの中にご飯を詰め



パワースポット霊狐塚

「いなり」と呼ばれています。豊川稲荷は神社ではないものの、商売繁盛の神として知られ、境内の参道には鳥居が建っており、日本三大稲荷の一つとされています。
◆霊狐塚
参道の奥に位置し、千体以上の狐様が並ぶ圧巻のパワースポットです。大きな岩の隙間には、ここを訪れた人が入れた硬貨があり、それを木の枝などでうまく取り出せるとお金持ちになるといわれています。取り出したお金はお守りにして、一年後にお金が儲かったら、お礼としてその何倍かの硬貨をこの岩の隙間に隠しにくるといわれています。

様な隊員達がもりあげています。豊川市には美味しく楽しいいなり寿司がたくさんあり、市内に約百店舗、約三百種類が提供されています。



わさびいなり寿司



おきつねバーガー

てお寿司にしたものが起源とされています。
発祥の地の一つとも伝えられる豊川市では、二〇〇九年市内観光協会が主体となり「いなり寿司で豊川市をもりあげ隊」を結成。毎月十七日を「いなり、いなり寿司の日」とし、毎年「豊川いなり寿司フェスタ」を開催するなど、多種多



豊川名物 稲荷寿司

また、パンの代わりに油揚げでヒレカツを挟む「おきつねバーガー」もあります。

◆B-1グランプリ in 豊川
豊川が、熱いな

B級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」は、年に一回ご当地グルメでまちおこしに取り組む団体が全国から集結するイベントで、地元の自慢の味を楽しんでもらうことはもちろん、各町のPRやパフォーマンズ、おもてなしなどに熱い思いが込められ開催されています。

二〇一三年「B-1グランプリ」の開催地に、このたび豊川市が正式決定！豊川市で開催される第八回目は、東海エリアで初のグランプリ開催ということもあり、地元は今から大盛り上がり！二〇一三年十一月九日から十日まで豊川稲荷周辺及び豊川市野球場周辺での開催となります。今から楽しみにしています。

アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR 飯田線豊川駅下車、徒歩三分

名鉄豊川線豊川稲荷駅下車、徒歩三分

〔家用車〕

東名高速道路豊川ICより五分